

# 琉球の息吹き絵巻行列

道ジュネーに登場する沖縄の年中行事紹介

現在でも沖縄各地では、さまざまなか年中行事が受け継がれています。沖縄の年中行事は、いろいろなお神々との関わりがあるのも特長のひとつです。琉球村では、その年中行事にみられる芸能を道ジュネー(沖縄風パレード)でご紹介いたします。



一伝えたいむかし沖縄ー  
**琉球村**  
www.ryukumura.co.jp

パレードの一般参加も出来ます。但し、前日又は、パレード当日の2時間前受付可能。一部の役指定も出来ます。人数の都合により参加できない場合もありますのでご了承ください。(参加は無料、但し衣装は有料です。)

〒904-0416 沖縄県恩納村字山田1130 (自動車道石川ICより約15分)  
tel 098-965-1234 fax 098-964-3411

## ミルク(弥勒)



村の繁栄や五穀豊穡、人々に幸せをもたらしてくれる来訪神で、沖縄本島や周辺離島にみられる芸能です。旧暦7月16日にミルク節と共に大きなうちわを持って村中を廻ります。

## マミドーマ



農耕民たちのふるまいを取り入れ、クワやヘラなど農具を持ち、にぎやかに踊る集団舞踊です。

## ウステーク(臼太鼓)



沖縄の村々で村落共同体の五穀豊穡と健康を祈願する集団舞踊です。村の女性が参加する踊りで、各村独特の歌や踊りがあります。琉球村ではその一部をご紹介します。

## 四つ竹



琉球王朝時代に作られ、今も受け継がれている宮廷舞踊で、花笠を被り、手には四つ竹という舞踊道具を持ち、紅型衣装を身にまとい優美に踊ります。

## 獅子舞



沖縄各地に残される祓い芸能の一つ。旧暦6月～8月までの旧盆や豊年祭に登場します。獅子を舞わせるのはワクヤーと呼ばれる者で、ドラやまりを使います。



# 今に蘇る琉球の息吹き絵巻行列

## 国王・王妃・三司官



琉球王国国王、王妃、そして王府の高官である三司官を先頭パレードは進んでいきます。

## チョンダラー(京太郎)



白塗りのメイクにユニークな動きで人々を笑わせるチョンダラーは、もともとは念仏者(ニブチャ)とも言い、旧盆の家々を廻る際に先祖供養のため念仏をとんでいた。今では、エイサーを盛り上げる役割を担った人物です。

## 空手・古武道演舞



沖縄古来の「手(ティー)」と中国(唐)の「拳法」が融合し発展して生まれた空手は、戦うためだけでなく身を守るための武術です。迫力ある空手と古武道の演舞は必見です。

## 摩(ゼイ)



摩とは(ゼイ・キ)と読み、もともとは軍隊を指図するハタキや扇のことです。摩をうちほらい、座を祓い清める意味がある祝儀舞踊です。

## カジマヤー(風車祝)



97歳の長寿者を祝う儀式で、この歳まで元気にと童心に帰るといことからカジマヤー(風車)を飾ります。旧暦9月7日に行われます。

## ジュリ馬



ジュリ(遊女)達が美しい紅型の衣装を身に包み、木馬の手綱を振りながら、ユイ、ユイ、ユイと歌三味線に合わせて舞い歩く美しく優雅な踊りです。

## エイサー



エイサーは、太鼓・踊り手で三線に合わせて踊る民俗芸能です。各地域、村々で異なる踊りがあり、太鼓も大太鼓からパーランクまでさまざまです。元々はチョンダラーを伴う祖先供養の踊りでした。



## 琉球の息吹き絵巻行列コース案内

ちゃんぶる一劇場  
雨天時  
演舞会場

※道ジュネーの内容は変更する場合がございます。

沖縄の駅ちゃんぶる一